

常磐大学 人間科学部心理学科 成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「ゼミナールⅠ」

| | | | | | |
|----|---------|--------|--------|--------|-------|
| 評定 | S | A | B | C | D |
| 評点 | 100～90点 | 89～80点 | 79～70点 | 69～60点 | 59～0点 |
| GP | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |

| 到達目標 | 評価項目 | 評価基準 | | | | |
|--------------------------------|------|---|--|--|--|---|
| | | 授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S） | 授業内容の習熟を達成している（A） | 授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している（B） | 到達目標を達成している（C） | 到達目標を達成できていない（D） |
| （1）心の多様性と普遍性を理解できるようになる。 | 知識 | 授業および様々な研究への参加・体験を通して、心理学および隣接領域研究を深く理解できるようになった。 | 授業および様々な研究への参加・体験を通して、心理学および隣接領域研究を概ね理解できるようになった。 | 授業および様々な研究への参加・体験を通して、心理学および隣接領域研究を不足する点もあるが理解できるようになった。 | 授業および様々な研究への参加・体験をしたが、心理学および隣接領域研究への理解が不足しており、努力を要する。 | 授業および様々な研究への参加・体験が不足しており、心理学および隣接領域研究の学びが浅く相当の努力を要する。 |
| （2）専門性にもとづいた課題を主体的に発見できるようになる。 | 思考 | 文献検索・整理方法を習得しており、論文の研究趣旨・問題点・課題を正確に指摘することができる。また適切な文献を複数引用（翻訳）している。 | 文献検索・整理方法を習得しており、論文の研究趣旨・問題点・課題を概ね指摘することができる。適切な文献を一部引用している。 | 文献検索・整理方法を概ね習得しているが、論旨理解に不足が見られる。また原著の引用がやや不足している。 | 文献検索・整理方法はある程度習得できているものの、論旨理解に不足が多く、資料引用を適切に行っていない（翻訳の引用含む）。 | 文献検索・整理方法を全く習得できおらず、論旨理解に明らかな不足が見られ、適切な資料を引用できない。 |
| （3）英語で論文を読めるようになる。 | 技能 | ほぼ正しく読解でき、概ね正しく説明できている。 | 正しく読解できている割合のほうが正しく読解できていない割合よりも多い。 | 正しく読解できている割合と正しく読解できていない割合が同じ程度である。 | 正しく読解できている割合よりも正しく読解できていない割合のほうが多い。 | 全体を通して資料を正しく読解できていない。 |

常磐大学 人間科学部心理学科 成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「ゼミナールⅡ」

| | | | | | |
|----|---------|--------|--------|--------|-------|
| 評定 | S | A | B | C | D |
| 評点 | 100～90点 | 89～80点 | 79～70点 | 69～60点 | 59～0点 |
| GP | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |

| 到達目標 | 評価項目 | 評価基準 | | | | |
|--------------------------------|-------|---|--|---|--|---|
| | | 授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S） | 授業内容の習熟を達成している（A） | 授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している（B） | 到達目標を達成している（C） | 到達目標を達成できていない（D） |
| （1）心の多様性と普遍性を理解し説明できるようになる。 | 知識・理解 | 授業および様々な研究への参加・体験を通して心理学および隣接領域研究を深く理解し正しく説明できるようになった。 | 授業および様々な研究への参加・体験を通して心理学および隣接領域研究を概ね理解し説明できるようになった。 | 授業および様々な研究への参加・体験を通して心理学および隣接領域研究の学びがやや不足するが理解し概ね説明できるようになった。 | 授業および様々な研究への参加・体験をしたが、心理学および隣接領域研究への理解が不足しており、努力を要する。 | 授業および様々な研究への参加・体験が不足しており、心理学および隣接領域研究の学びが浅く相当の努力を要する。 |
| （2）専門性にもとづいた課題を主体的に発見できるようになる。 | 思考 | 文献検索・整理方法を習得しており、論文の研究趣旨・問題点・課題を正確に指摘することができる。また適切な文献を複数引用（翻訳）している。 | 文献検索・整理方法を習得しており、論文の研究趣旨・問題点・課題を概ね指摘することができる。適切な文献を一部引用している。 | 文献検索・整理方法を概ね習得しているが、論旨理解に不足が見られる。また原著の引用がやや不足している。 | 文献検索・整理方法はある程度習得できているものの、論旨理解に不足が多く、資料引用を適切に行っていない（翻訳の引用含む）。 | 文献検索・整理方法を全く習得できおらず、論旨理解に明らかな不足が見られ、適切な資料を引用できない。 |
| （3）英語で論文を読めるようになる。 | 技能 | ほぼ正しく読解でき、概ね正しく説明できている。 | 正しく読解できている割合のほうが正しく読解できていない割合よりも多い。 | 正しく読解できている割合と正しく読解できていない割合が同じ程度である。 | 正しく読解できている割合よりも正しく読解できていない割合のほうが多い。 | 全体を通して資料を正しく読解できていない。 |

常磐大学 人間科学部心理学科 成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「卒業論文Ⅰ」

| | | | | | |
|----|---------|--------|--------|--------|-------|
| 評定 | S | A | B | C | D |
| 評点 | 100～90点 | 89～80点 | 79～70点 | 69～60点 | 59～0点 |
| GP | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |

| 到達目標 | 評価項目 | 評価基準 | | | | |
|--|-------|---|--|---|---|--|
| | | 授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S） | 授業内容の習熟を達成している（A） | 授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している（B） | 到達目標を達成している（C） | 到達目標を達成できていない（D） |
| （1）問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理できるようになる。 | 思考 | 様々な資料から問題を発見し、解決に必要な情報を積極的に収集・分析・整理し、深い考察のもと優れた研究計画につなげることができた。 | 様々な資料から問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、指導教授の指導のもと優れた研究計画につなげることができた。 | 様々な資料から問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、指導教授の指導のもと概ね研究計画をたてることができた。 | 様々な資料から問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、研究計画に結果的につなげることができた。ただし、指導教授の指導があるまで活動できておらず問題が残る。 | 様々な資料から問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理できず、研究計画につなげることができていない。指導教授の指導をうけようとせず大きな問題が残る。 |
| （2）立案と実施をおこなうことでスケジュール管理能力が身につくようになる。 | 判断・態度 | 研究計画・参加者のスケジュール調整・研究実施・データ分析・執筆・締め切り厳守・発表準備など、すべてのスケジュールが適切に管理されスムーズに実施された。 | 研究計画・参加者のスケジュール調整・研究実施・データ分析・執筆・締め切り厳守・発表準備などにおいて、いくつかの遅延と修正が必要となったが、概ねすべてのスケジュールが適切に管理されスムーズに実施された。 | 研究計画・参加者のスケジュール調整・研究実施・データ分析・執筆・締め切り厳守・発表準備などにおいて、ある程度の修正があったが調整ののち全て期限内に提出・発表することができた。 | 研究計画・参加者のスケジュール調整・研究実施・データ分析・執筆・締め切り厳守・発表準備などにおいて、幾度か中断が見られた。 | 研究計画・参加者のスケジュール調整・研究実施・データ分析・執筆・締め切り厳守・発表準備などにおいて、幾度か中断し大幅な修正を要した。 |
| （3）情報や知識を多角的に分析し、表現できる、論理的思考力が身につくようになる。 | 思考 | 多角的分析力、表現力、論理的思考力を身につけるため期待以上の準備を行った。具体的には必要な資材・刺激あるいは質問項目の選定・予備調査を早い段階から計画的に実施し、幾度も修正をおこない本研究に備えた。 | 多角的分析力、表現力、論理的思考力を身につけるための準備を良好に進めた。具体的には必要な資材・刺激あるいは質問項目の選定・予備調査を計画的に実施し本研究に備えた。 | 多角的分析力、表現力、論理的思考力を身につけるための準備をある程度進めた。具体的には必要な資材・刺激あるいは質問項目の選定・予備調査を簡易的に実施し本研究に備えた。 | 多角的分析力、表現力、論理的思考力を身につけるための準備が不十分。具体的には必要な資材・刺激あるいは質問項目の選定・予備調査を簡易的に実施したが修正が不十分であった。 | 多角的分析力、表現力、論理的思考力を身につけるための準備が著しく不十分。必要な資材・刺激あるいは質問項目の選定・予備調査の実施が著しく不十分であった。 |

常磐大学 人間科学部心理学科 成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「卒業論文Ⅱ」

| | | | | | |
|----|---------|--------|--------|--------|-------|
| 評定 | S | A | B | C | D |
| 評点 | 100～90点 | 89～80点 | 79～70点 | 69～60点 | 59～0点 |
| GP | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |

| 到達目標 | 評価項目 | 評価基準 | | | | |
|---------------------------------------|-------|--|---|--|--|---|
| | | 授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S） | 授業内容の習熟を達成している（A） | 授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している（B） | 到達目標を達成している（C） | 到達目標を達成できていない（D） |
| （1）専門性を深め、社会貢献を意識した活動を行えるようになる。 | 思考 | 様々な資料から問題を整理し、研究倫理にもとづき参加者への配慮が十分になされている。また研究テーマと研究意義が、社会との接点・社会貢献を十分に意識されている。 | 様々な資料から問題を整理し、研究倫理にもとづき参加者への配慮が概ねなされている。また研究テーマと研究意義が、社会との接点・社会貢献を意識されている。 | 様々な資料から問題を整理し、研究倫理にもとづき参加者への配慮しているが不足点もある。また研究テーマと研究意義を考えるうえで、社会との接点・社会貢献への意識が不足している。 | 様々な資料から問題を整理しているが、研究倫理の理解・参加者への配慮が不足している。また研究テーマと研究意義を考えるうえで、社会との接点・社会貢献への意識が不足している。 | 様々な資料から問題整理に不足があり、研究倫理の理解・参加者への配慮が欠落している。また研究テーマと研究意義を考えるうえで、社会との接点・社会貢献への意識も著しく不足している。 |
| （2）立案と実施をおこなうことでスケジュール管理能力が身につくようになる。 | 判断・態度 | 研究計画・参加者のスケジュール調整・研究実施・データ分析・執筆・締め切り厳守・発表準備など、すべてのスケジュールが適切に管理されスムーズに実施された。 | 研究計画・参加者のスケジュール調整・研究実施・データ分析・執筆・締め切り厳守・発表準備などにおいて、いくつかの遅延と修正が必要となったが概ねすべてのスケジュールが適切に管理されスムーズに実施された。 | 研究計画・参加者のスケジュール調整・研究実施・データ分析・執筆・締め切り厳守・発表準備などにおいて、ある程度の修正があったが調整のち全て期限内に提出・発表することができた。 | 研究計画・参加者のスケジュール調整・研究実施・データ分析・執筆・締め切り厳守・発表準備などにおいて、幾度か中断が見られた。卒業論文は期限内に提出にすることができた。 | 研究計画・参加者のスケジュール調整・研究実施・データ分析・執筆・締め切り厳守・発表準備などにおいて、幾度か中断し大幅な修正を要し、卒業論文も期限内に提出できなかった。 |
| （3）研究成果をまとめ、執筆・報告するためのスキルが身につくようになる。 | 技能 | 非常に優れた研究成果を丁寧かつ簡潔にまとめ、体裁・構成などを指示した通りに執筆し、研究成果を発表し高い評価を得た。 | 研究成果を丁寧かつ簡潔にまとめ、体裁・構成などを指示した通りに執筆し、研究成果を発表した。 | 研究成果を簡潔にまとめたが、体裁・構成などに指示内容から逸脱した点が見られた。また研究成果発表にも不足する点があった。 | 研究の趣旨が伝わりづらく、体裁・構成などに指示内容から逸脱した点が多い。また研究成果発表にも不足する点があったものの、研究成果をまとめることはできた。 | 研究の趣旨が伝わりづらく、体裁・構成なども指示内容から大きく逸脱しており、研究成果発表においても著しく不足する点があった。研究成果をまとめ発表する水準に達していない。 |